

報道関係者各位

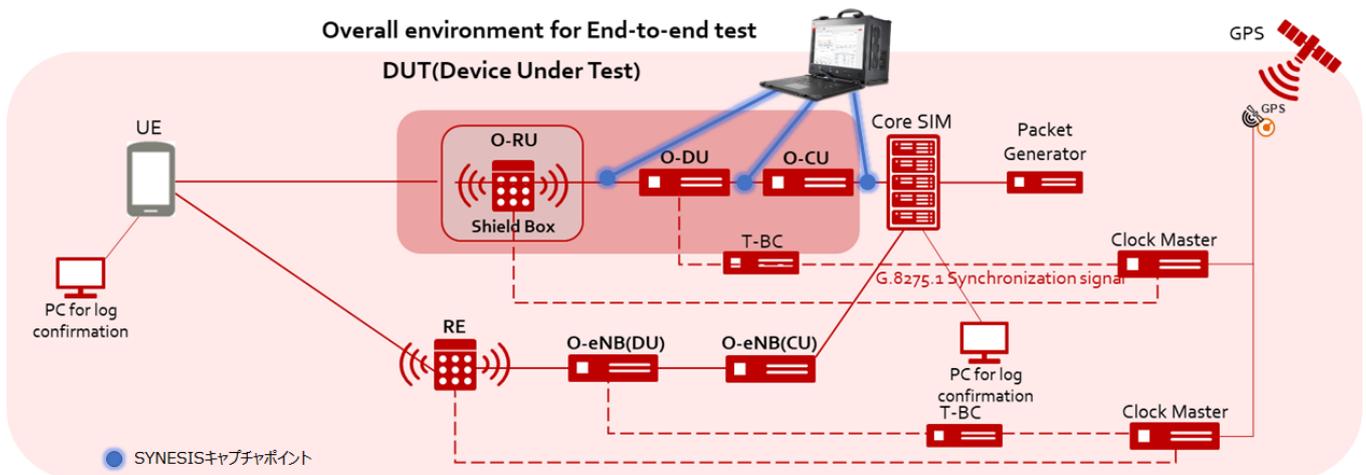
発行 No.71031

2023年4月18日

株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ製、大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」を 楽天シンフォニーUK の 「楽天 Open RAN カスタマーエクスペリエンスセンター」に納入 ～Open RAN 技術の国際的な普及・啓発に貢献～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、自社製の大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・100GbE 対応モデルを楽天シンフォニー株式会社の子会社である英国 Rakuten Symphony UK LTD(以下 楽天シンフォニーUK)へ2023年3月に納入したことをお知らせいたします。5G モバイルネットワーク構築に資する Open RAN^{※1} のさらなる国際的な普及・発展を目指し開設された、同社の「楽天 Open RAN カスタマーエクスペリエンスセンター」(以下 本センター)に導入され、通信機器の相互接続性の検証に活用されます。



「SYNESIS」ポータブル型・100GbE 対応モデル 使用イメージ図

【背景/概要】

モバイルネットワークの需要が多様化していく中、複数のベンダーによる機器構成を実現し、柔軟な機器調達やネットワーク構築コストの削減が可能となる Open RAN への期待が高まっています。オープンな規格に準拠しているため、安全性や透明性の高い RAN の構築につながることから注目されている技術です。

この Open RAN において、東陽テクニカが自社開発した大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・100GbE 対応モデルは、高速大容量でももれなくキャプチャできる特許技術を備え、相互接続の正確な評価を可能にします。

楽天モバイル株式会社、楽天シフォニー株式会社、楽天シフォニーUKは、2023年3月に欧州・中東・アフリカ地域の通信事業者・通信機器サプライヤー向けに Open RAN 技術の展示を行う本センターを開設しました。^{※2}本センターでは、機器の相互接続性の評価や最新技術の展示、ワークショップが行われる予定です。

大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・100GbE 対応モデルは、本センターに導入され、通信機器の相互接続性の検証に活用されます。

東陽テクニカは、培ってきた“はかる”技術による自社開発力を強みとし、中期経営計画“TY2024”では高速通信環境の実現を事業戦略の一つとして掲げています。「SYNESIS」の本センターへの導入を通じて、今後も技術革新と産業発展に貢献してまいります。

※1 モバイルネットワーク技術の一つ。無線の送受信装置などの仕様をオープンにして、さまざまなベンダーの機器やシステムとの相互接続を可能とする標準化された無線アクセスネットワーク(Radio Access Network)。

※2 参照：「楽天、「楽天 Open RAN カスタマーエクスペリエンスセンター」を開設し始動」

https://corp.mobile.rakuten.co.jp/news/press/2023/0329_01/

【「SYNESIS」の主な特長】

ネットワークを流れるデータをキャプチャし、その統計やパケットを翻訳して表示する LAN アナライザで、高速トラフィックの通信障害解析を目的とした大容量パケットキャプチャ/解析システムです。

✓ ロスしないパケットキャプチャ

特許を取得した技術を活用し高速な 100GbE 通信でもパケットを取りこぼさなく 100%キャプチャ可能。

✓ 高速なパケット抽出力

ディスク書き込み時にインデックス情報を同時に保存することで、目的のパケットを検索するための時間を大幅に短縮。蓄積したパケット情報から必要なデータを高速で抽出・解析可能。

「SYNESIS」製品 Web ページ：<https://www.synesis.tech/>

✓ キーボード/ディスプレイ一体の可搬型モデル対応

ラックマウントモデルに加え、可搬型モデルをラインアップ。フィールドにおいてさまざまなロケーションでの利用が可能。

<「SYNESIS」導入に際して楽天シフォニーUKの Managing Director である Nastasi Karaiskos(ナスタシ・カライスコス)氏よりコメント>

「楽天 Open RAN カスタマーエクスペリエンスセンター」は、Open RAN の相互運用性を高めるための欧州におけるテストベッドとして機能し、スマートで安全な 5G の強化や、通信サプライチェーンの多様化に向けたビジネス展開をサポートしていきます。

当社は、Open RAN の相互運用性を検証する取り組みの一環として、O-RAN 仕様に準拠した先進技術を提供することで、事業者を支援します。東陽テクニカのポータブル型キャプチャアプライアンスである「SYNESIS」は、相互運用性の検証において 100GbE と 25GbE のリンクからパケットをもれなくキャプチャできる理想的なソリューションだと考えています」

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 マーケティング課 武田
TEL : 03-3279-0771(代表) / 070-7789-0536(携帯)
E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp
「SYNESIS」製品ページ : <https://www.synesis.tech/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。